

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会については毎年3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告をする一定の日

配当受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当の支払を行うときは9月30日

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・配当金計算書について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

45th

第45期報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

weds
株式会社ウェッズ



weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>



R100
古紙配合率100%再生紙

証券コードNo.7551

●トップメッセージ

経営理念

「ウェッズの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。
私達は人と車の
未来に向けて、
常に新しく価値ある商品を
創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の
営業方針と会社・株主・社員
三位一体の取り組みにより、
会社の繁栄と安定を追求して、
株主利益の向上と
社員のライフプラン充実に
努めます。」



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて第45期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、リーマンブラザーズの破綻に端を発した世界同時金融不安等により、国内では企業業績と個人消費の落ち込みと為替・株価の変動、加えて1,000円ゾーンに代表されるようなデフレ経済の状況となりました。特に、個人消費は、雇用情勢の悪化に加え、所得環境の厳しさを増しております。一方、昨春の定額給付金、エコカー減税、エコポイント制度の政府施策効果から一部には下げ止まりの動きがみられる状況になりました。しかしながら、当社グループと密接な関係にある自動車業界や自動車用品のアフターマーケットの需要は依然として低調に推移しております。

このような環境において、当社グループは積極的な営業活動と利益体質強化に努めた結果、当連結会計年度は、売上高は19,540百万円（前期比8.9%減）、営業利益は290百万円（前期比4.4%増）、経常利益は363百万円（前期比19.1%増）、当期純利益は自動車関連小売事業で店舗移

転に伴う固定資産除却損を約88百万円計上したものの165百万円（前期比48.9%増）となり減収増益となりました。

当期の配当につきましては、前期同様に1株当たり15円（うち期末配当7.5円）とさせていただくこととなりました。

株主の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年 6月
代表取締役社長 川口 修

当連結会計年度の 事業セグメント別業績

●自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業の売上高は15,857百万円となり前期比1,689百万円（9.6%）減少しました。これはスチールホイールの販売本数減少による売上高の減少と廉価アルミホイールの販売単価下落にともなうものであります。営業利益は234百万円となり前期比では3百万円（1.3%）減少しましたが、販売費削減と売上原価低下により売上高の落ち込みによる影響を概ねカバーしました。

●自動車関連小売事業

自動車関連小売事業は、個人消費の一段の低迷が懸念されましたが、昨春のETC特需以降もエコカー減税等の自動車関連需要の底支えもあり、売上高は比較的堅調に推移しました。しかしながらバーデン安城店が店舗移転に伴い約3ヶ月閉鎖したために1,602百万円となり前期比25百万円（1.6%）減収となりました。一方、営業損失は21百万円となり前期比では3百万円の改善となりました。これは販売管理費の削減等と売上原価の減少によるものであります。

●開発事業

開発事業の売上高は920百万円となり前期比284百万円（23.6%）減少し、営業損失も11百万円となり前期比3百万円の損失増加となりました。これは、自動車関連需要の低迷により大口納入先である中央精機㈱向けの機械納入が減少したためであります。

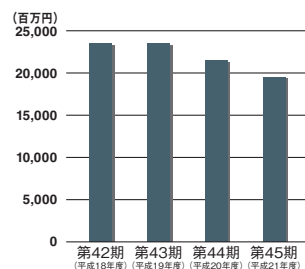
●福祉事業

福祉事業の売上高は563百万円となり前期比78百万円（16.3%）増加しました。営業利益も66百万円となり前期比10百万円（19.1%）増加しました。これらはグレイシャスピラ安城が営業開始後5年を経過し、事業が軌道に乗り施設入居率も概ね満床になったためであります。また本年1月には増床部分も開業するに至り、今後は増床分80床を加え約150床の事業体制となります。

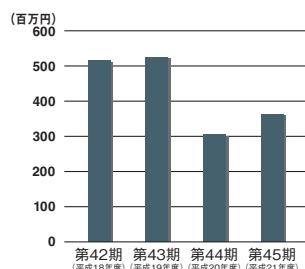
●その他

携帯電話代理店事業の売上高は711百万円となり前期比16百万円（2.2%）減少しました。一方、営業利益は20百万円となり前期比5百万円（40.9%）増加しました。売上高の減少をカバーしたのは、販売手数料等の減少にともない売上原価が下がったことによるものです。

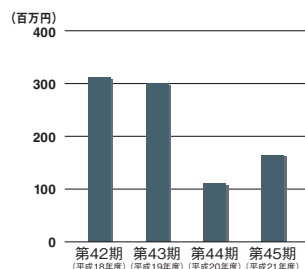
売上高



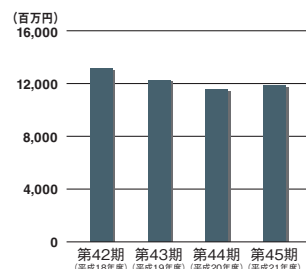
経常利益



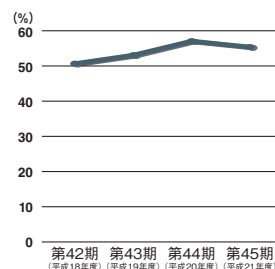
当期純利益



総資産



自己資本比率



セグメント別売上高・営業利益

		(百万円)								
		自動車関連卸売	自動車関連小売	開発	福祉	その他	消去	計		
売上高	当期	15,857	1,602	920	563	711	△ 114	19,540		
	前期	17,546	1,628	1,204	484	727	△ 144	21,447		
営業利益	当期	234	△ 21	△ 11	66	20	1	290		
	前期	238	△ 25	△ 7	55	14	2	278		

連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当期	前期
(資産の部)		
流動資産	6,431	6,649
現金及び預金	541	646
受取手形及び売掛金	3,217	2,942
たな卸資産	1,831	2,587
繰延税金資産	69	48
その他	771	426
貸倒引当金	△0	△2
固定資産	5,539	4,899
有形固定資産	3,925	3,358
建物及び構築物	2,266	1,621
土地	1,431	1,431
建設仮勘定	85	141
その他	142	164
無形固定資産	320	350
投資その他の資産	1,293	1,190
投資有価証券	703	589
繰延税金資産	40	32
その他	548	606
貸倒引当金	△0	△38
資産合計	11,970	11,548

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	当期	前期
(負債の部)		
流動負債	3,420	3,339
買掛金	1,091	907
短期借入金	1,589	1,739
未払法人税等	145	137
携帯電話短期解約返戻引当金	0	0
賞与引当金	138	156
役員賞与引当金	30	28
その他	424	369
固定負債	1,907	1,620
長期借入金	1,412	1,217
繰延税金負債	92	59
退職給付引当金	51	42
役員退職慰労引当金	132	148
その他	219	152
負債合計	5,328	4,959
(純資産の部)		
株主資本	6,500	6,482
資本金	852	852
資本剰余金	802	802
利益剰余金	4,941	4,840
自己株式	△96	△12
評価・換算差額等	142	106
その他有価証券評価差額金	36	0
繰延ヘッジ損益	107	106
為替換算調整勘定	△0	△0
純資産合計	6,642	6,589
負債・純資産合計	11,970	11,548

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当期	前期
売上高	19,540	21,447
売上原価	15,383	17,016
売上総利益	4,156	4,431
販売費及び一般管理費	3,865	4,153
営業利益	290	278
営業外収益	119	99
営業外費用	46	73
経常利益	363	305
特別利益	19	25
特別損失	88	70
税金等調整前当期純利益	294	260
法人税、住民税及び事業税	148	141
法人税等調整額	△20	7
当期純利益	165	111

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当連結会計年度

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
前期末 残高	852	802	4,840	△12	6,482	0	106	△0	106	6,589
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△64		△64					△64
当期純利益			165		165					165
自己株式の取得				△83	△83					△83
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						35	0	△0	35	35
連結会計年度中の変動額合計			101	△83	17	35	0	△0	35	53
当期末 残高	852	802	4,941	△96	6,500	36	107	△0	142	6,642

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当期	前期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,205	827
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,202	△252
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△106	△417
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
V 現金及び現金同等物の増減額	△104	156
VI 現金及び現金同等物の期首残高	646	489
VII 現金及び現金同等物の期末残高	541	646

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

WedsSport IS350 2009年シリーズチャンピオン獲得！！

これまでも度々本報告書でご案内させていただいている通り、当社は日本のモータースポーツのトップカテゴリーであるSUPER GT選手権に長年に渡り「WedsSport Racing Team with BANDO」H」として参戦しております。毎年国内サーキットを中心に各地を転戦しますが、昨年のSUPER GT 2009シリーズのGT300クラスにて、織戸、片岡両ドライバーによるドライバーポイント、チームポイントともにトップとなり、見事シリーズチャンピオンを獲得しました。一年間ご声援有難うございました。

今年も3月の岡山国際サーキットから11月のツインリンクもてぎまで全9戦が予定されており、昨年同様WedsSport IS350で参戦して2年連続のシリーズチャンピオン獲得を目指します。レース結果はWEDSオフィシャルホームページで掲載しておりますので是非ご覧下さい。



会社概要

商号 株式会社ウェッズ
WEDS CO.,LTD.
本社 東京都大田区大森北1-6-8
KDX大森ビル6階
設立 昭和40年10月12日
資本金 8億5,275万円
従業員数 139名
業務内容 自動車用アルミホイール・スチール
ホイールを中心とした自動車部品・
用品の販売

役員 (平成22年6月23日総会後新役員)

取締役社長 (代表取締役) 川口 修
専務取締役 谷越 時義
取締役 東 幸雄
取締役 山口 義弘
取締役 伊澤 秀
取締役 稲妻 範彦
常勤監査役 川崎 史博
監査役 加藤 武司
監査役 小林 和夫

※取締役東幸雄氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※監査役加藤武司氏及び小林和夫氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■発行可能株式総数 17,780,000株
■発行済株式の総数 4,445,000株
■単元株式数 100株
■株主数 650名
■大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	38.6
石原勝成	242,759	5.8
ソシエテ ジェネラル エヌアルエイ エヌオーデイテイテイ	239,500	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	209,900	5.0
碧海信用金庫	130,000	3.1
ウェッズ従業員持株会	121,010	2.9
民享工業股份有限公司	109,700	2.6
株式会社三井住友銀行	91,000	2.2
六和機械股份有限公司	64,000	1.5
星野 肇	59,100	1.4

※自己株式245,762株を保有していますが、持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する割合を示しています。

■株価推移

